

地震について

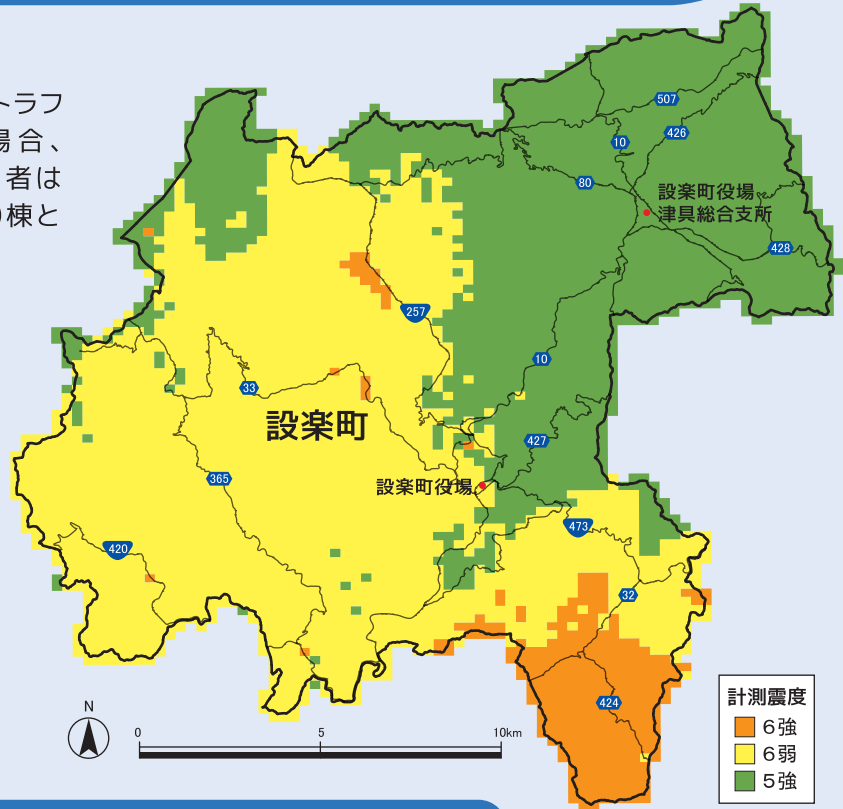
南海トラフ地震

マグニチュード9.0とされる南海トラフ地震では、被害が最大となる場合、愛知県内における死者・行方不明者は約23,000人、全壊は約380,000棟と想定されています。

南海トラフ地震 地表震度分布図

想定する地震動は5ケースのうち、揺れによる被害が最大となると想定される「陸側ケース」

出典：「平成23年度～25年度愛知県東海地震・東南海地震・南海地震等被害予想調査報告書【図3-4 最大想定モデルの地震（陸側ケース）による地表震度分布】より



震度による感じ方の違い

震度 0	・人は揺れを感じない。
震度 1	・屋内で静かにしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がいる。
震度 2	・屋内で静かにしている人の大半が、揺れを感じる。
震度 3	・屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。
震度 4	・ほとんどの人が驚く。 ・電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。 ・座りの悪い置物が、倒れることがある。
震度 5 弱	・大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。 ・棚にある食器類や本が落ちることがある。 ・固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。
震度 5 強	・物につかまらなると歩くことが難しい。 ・棚にある食器類や本で落ちるものが増える。 ・固定していない家具が倒れることがある。 ・補強されていないブロック塀が崩れることがある。
震度 6 弱	・立っていることが困難になる。 ・固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。 ・壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。 ・耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。
震度 6 強	・はわないと動くことができない。飛ばされることもある。 ・固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。 ・耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが増える。 ・大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。
震度 7	・耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものがさらに増える。 ・耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。 ・耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが増える。

※気象庁資料より